

令和7年度大豆生育定期調査結果 No.2 (北上市 8月4日現在)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部水田利用研究室 (TEL: 0197-68-4412、FAX: 0197-71-1081)

1 生育概況 (表1、図1)

(1) 生育

7月の高温の影響で生育は旺盛となり、6月5日播種の両品種とも平年に比べ主茎長はやや短いものの、分枝数はやや多く、地上部乾物重は重い。6月19日播種のリュウホウでも前年と比べ同様の傾向となっている。開花期は高温の影響で全体的に早く、6月5日播種の両品種で平年より4～6日早く、6月19日播種のリュウホウで前年より5日早かった。

表1 8月4日現在の生育調査結果

品種	年次	開花期	草丈	主茎長	主茎節数	分枝数	地上部乾物重
		(日)	(cm)	(cm)	(節)	(本/株)	(g/m ²)
リュウホウ (6/5播種)	R7年	7/23	81.6	51.5	15.0	4.9	297.5
	平年	7/27	87.4	53.3	14.3	4.1	229.5
	平年差・比	-4	-5.8	-1.8	+0.7	+0.8	130%
	前年	7/28	90.3	52.6	14.5	4.7	239.2
シュウリュウ (6/5播種)	R7年	7/23	79.9	46.8	15.0	4.1	380.3
	平年	7/29	87.0	51.8	14.6	3.5	260.7
	平年差・比	-6	-7.1	-5.0	+0.4	+0.6	146%
	前年	7/29	81.3	44.7	13.9	3.8	191.5
(参考)	R7年	8/1	61.0	37.8	12.5	1.8	154.6
リュウホウ (6/19播種)	前年	8/6	75.1	44.0	11.6	1.5	127.2
	前年差・比	-5	-14.1	-6.2	+0.9	+0.3	122%

※1: 「平年」は令和2～6年の平均値。

※2: リュウホウ(6月19日播種)はR6、7の2か年のみ実施。



図1 各品種の生育状況 (8月4日撮影)

左上: リュウホウ (6月5日播種)、
 右上: シュウリュウ (6月5日播種)、
 左下: リュウホウ (6月19日播種)

2 気象経過（7月第2半旬～8月第1半旬；図2）

気温は7月第3半旬を除いて平年よりかなり高く、日照時間は平年より長く経過した。

降水量は、8月第1半旬を除いて平年を大きく下回った。

なお、東北北部における梅雨入りは6月14日頃（昨年より9日早い）、梅雨明けは7月19日頃（昨年より14日早い）であった（気象庁速報値）。

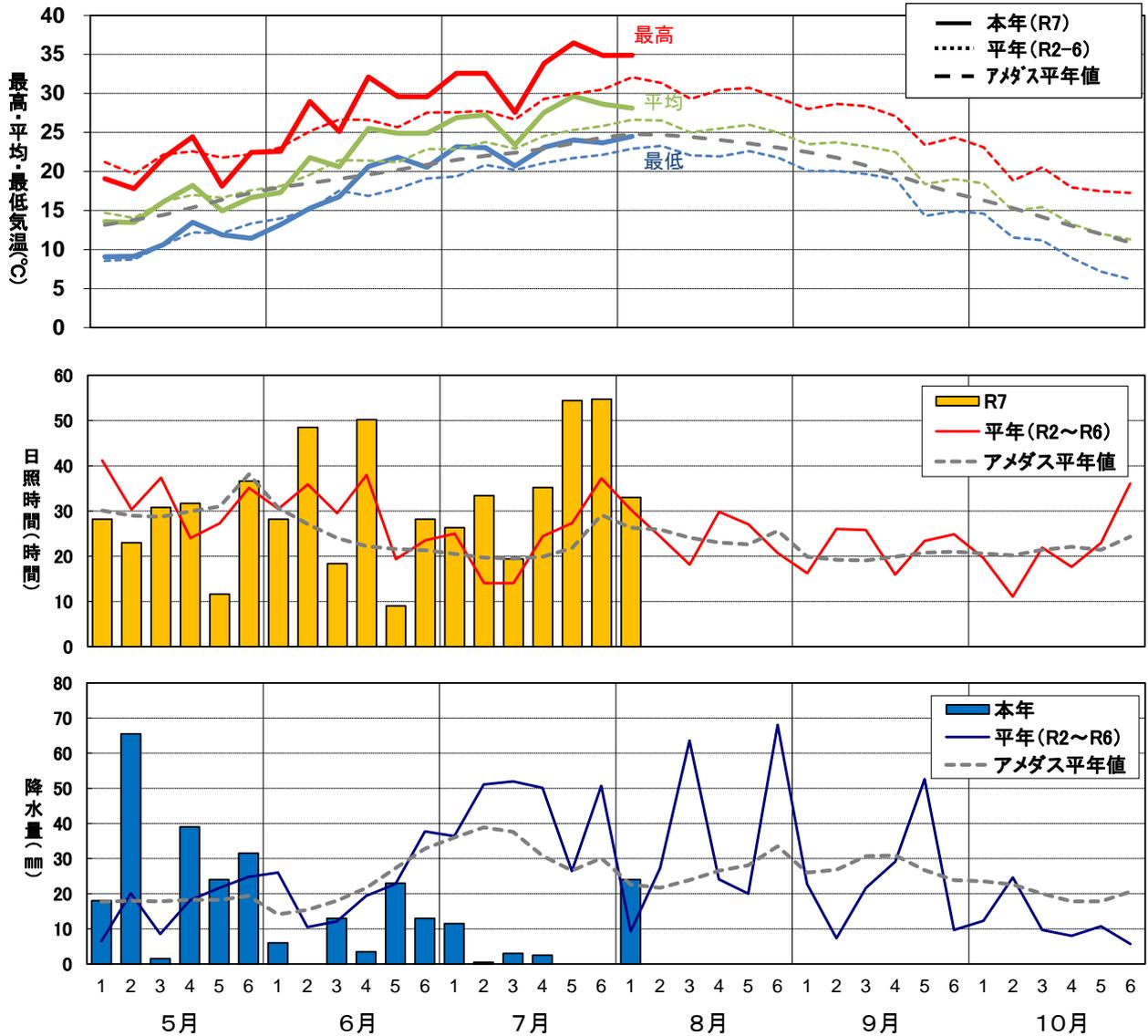


図2 気象経過図（アメダス北上、8月5日現在）

※1：「平年」は令和元～5年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m 淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目）
- (2) 播種日：6月5日（リュウホウおよびシュウリュウ）、6月19日（リュウホウのみ）
- (3) 栽植密度 6月5日播種：9.5株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月19日播種：14.3株/m²（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量 (kg/10a)：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥 1t/10a
- (5) 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 中耕・培土：7月8日、7月18日